

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第3学年2組 28名

指導者 浦栃 なずな

1. 主題名「友達ならどうする」 B-(9) 友情、信頼
2. 資料名「絵葉書と切手」(出典:Gakken「みんなのどうとく③」)
3. ねらい

友達に対して、本当のことを伝えようとする行動の意味を話し合うことを通して、友達との心のつながりの大切さを自覚し、互いに信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。

4. 展開

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1. 友達についての事前アンケートを提示する ○あなたにとって友達とはどんな人ですか？	◇事前アンケートの結果を活用することで、児童一人一人が友達についての考えを振り返り、本時の課題意識をもてるようにする。
展開 37分	2. 「絵葉書と切手」を読んで感じたことを話し合い、道徳的価値の大切さを考える ○自分だったら、正子さんに料金不足だと伝えますか。 【伝える】 ・知らないままでとかわいそう。 ・自分だったら教えてほしいから。 ・本当のことを言うのもやさしさだと思う。 【伝えない】 ・正子さんが悲しい気持ちになるかもしれない。 ・ほかの人が教えてくれるかもしれない。 ・仲が悪くなってしまうかもしれない。 ○どうして、ひろ子さんは教えてあげることにしたのでしょうか。 ・正子さんなら、きっと分かってくれると思ったから。 ・嫌われても、友達のためになると思ったから。 ・間違っただけのほうがいいかと思ったから。 ☆本当の友達とは、どんな友達だと思いますか。 ・間違っていることはきちんと教えてあげる友達 ・本当のことを言ってくれる友達。 ・嫌われるかもしれないけど、友達のためになることを言う友達。	◇実際に通常葉書と定形外郵便物を見せることで、郵便料金についての理解を助けるとともに、教材への興味を高める。 ◇兄の考えと母親の考えを構造的に板書に示すことにより、本当のことを友達に伝えるかどうかで悩む主人公の気持ちに寄り添い、自分と重ね合わせて考えることができるようにする。 ◇主人公が「本当のことを伝える」を選んだ理由を考えさせることにより、本当に友達のためを思って行動することとはどんなことなのかについて考えを深めさせ、自分自身の友達との関わり方を見つめ直せるようにする。 ◆友達のために本当のことを伝えることのよさや難しさについて、考えを深めている。 (発言・ワークシート・観察)
	3. 自分の生活を振り返る ○今までの自分の生活を振り返って、友達のために自分ができることは何か考えましょう。	◆友達との関わりを振り返り、互いに信頼し合い、助け合うことの大切さについて考えている。 (発言・ワークシート・観察)
	4. 本時の学習を振り返る ○今日の学習を振り返って、感じたことや考えたことを伝え合いましょう。	◇教師の経験を通して、互いに信頼し合う友達関係の大切さについて考えを深められるようにする。
終末 3分		